

23区「清掃工場故障週報」平成27年度(工場別)

光が丘清掃工場

連番	炉	状況	発生日時		復旧日時		故障内容・備考等
			日	時	日	時	
59	ごみクレ	停止	H27.12.25	0:30	H27.12.26	15:00	クレーン運転時にバケットフレームの折損が確認されたため、使用を停止した。
53	T/G	停止	H27.11.29	18:47	H27.12.1	19:10	タービンランド蒸気復水器の排気ファンが絶縁不良によりトリップした。このため、タービン発電機を停止した。
45	ごみクレ	停止	H27.10.30	11:00	H27.11.16	16:00	クレーン点検時にバケットフレームの折損が確認されたため、使用を停止した。
43	2号炉	休炉	H27.10.24	23:00	H27.10.30	22:50	シュート部槌打用座の表面温度が低く、スートブローを実施しても灰の落下を確認できなかった。灰の閉塞と判断し、焼却炉を立ち下げた。
34	ごみクレ	停止	H27.9.4	17:00	H27.9.15	17:00	クレーン点検時に、横行用の従動側車輪より異音が生じるのを発見した。調査の結果、同車輪の軸受部品の劣化が認められたため、クレーンの使用を停止した。

目黒清掃工場

連番	炉	状況	発生日時		復旧日時		故障内容・備考等
			日	時	日	時	
60-1	2号炉	休炉	H27.12.26	13:20	H28.2.18	14:04	無停電電源装置内の電算機分電盤用遮断器の故障により、分散型制御装置へ電源が供給できなくなったため、1号炉・2号炉とも焼却炉を立ち下げた。
60-2	1号炉	休炉	H27.12.26	13:20	H28.3.19	20:46	無停電電源装置内の電算機分電盤用遮断器の故障により、分散型制御装置へ電源が供給できなくなったため、1号炉・2号炉とも焼却炉を立ち下げた。
56	2号炉	休炉	H27.12.12	0:28	H27.12.17	16:01	リフトタンクから飛灰貯留槽への飛灰輸送配管に閉塞が確認された。解除作業を行うため、焼却炉を立ち下げた。
33	1号炉	休炉	H27.9.10	6:00	H27.11.21	15:57	No.1集じん機ダストコンベヤが過負荷により停止した。補修のため、焼却炉を立ち下げた。なお、このままオーバーホールに入る。

有明清掃工場

連番	炉	状況	発生日時		復旧日時		故障内容・備考等
			日	時	日	時	
62	1号炉	休炉	H28.1.1	1:34	H28.1.6	7:29	1号炉飛灰搬送コンベヤAが過電流で停止した。直ちに現場調査したが、復旧に時間を要するため焼却炉を立ち下げた。
55	2号炉	休炉	H27.12.10	4:24	H27.12.17	7:42	400Vプラント動力配電盤内の2号炉動力コントロールセンタ盤用MCCBがトリップし、焼却炉が停止した。
46	2号炉	休炉	H27.11.4	8:30	H27.11.7	6:42	2号炉立上げ中に沈殿槽の濁度異常を確認した。放流を停止し経過を観察していたが、改善しないため2号炉を立ち下げた。

千歳清掃工場

連番	炉	状況	発生日時		復旧日時		故障内容・備考等
			日	時	日	時	
70	1号炉	休炉	H28.2.13	18:43	H28.2.19	15:12	No.2ボイラダストコンベヤがサーマルリレー作動により停止した。コンベヤ軸の蛇行を確認したため運転継続は不能と判断し、焼却炉を立ち下げた。
39	1号炉	休炉	H27.9.17	18:36	H27.9.22	17:41	No.1ボイラダストコンベヤがサーマルリレー作動により停止した。正逆転操作を繰り返しても復旧できず、ダストの排出ができなくなったため、焼却炉を立ち下げた。
19	1号炉	休炉	H27.7.4	8:43	H27.7.7	14:19	乾燥ストーカの動作不良を確認した。復旧の見込みがないため、焼却炉を立ち下げた。

## 23区「清掃工場故障週報」平成27年度(工場別)

## 江戸川清掃工場

連番	炉	状況	発生日時		復旧日時		故障内容・備考等
			日	時	日	時	
41	1号炉	休炉	H27.9.20	10:00	H27.10.11	5:34	蒸気式ガス再加熱器No.1ドレン配管保温材から水漏れを確認した。経過観察していたが、改善しないため焼却炉を立ち下げた。
27	ごみクレ	停止	H27.8.19	20:00	H27.8.21	14:00	クレーン点検時に、1号ごみクレーンの給電ケーブルリールのモータ側及び中間軸側のローラーチェーン付近から異音を確認したため、クレーンの使用を停止した。

## 墨田清掃工場

連番	炉	状況	発生日時		復旧日時		故障内容・備考等
			日	時	日	時	
4	1号炉	休炉	H27.3.29	12:30	H27.5.1	13:49	No.1灰コンベヤ(灰冷却水槽)底部から主灰ホツパシュートにかけて灰の堆積が確認された。主灰ホツパシュート部の解除装置等で解除を試みたが、灰の詰まりが解除できないため焼却炉を立ち下げた。

## 北清掃工場

連番	炉	状況	発生日時		復旧日時		故障内容・備考等
			日	時	日	時	
40	1号炉	休炉	H27.10.1	18:36	H27.10.13	10:02	炉設備コントロールセンタ盤のメインブレーカがトリップし、焼却炉が停止した。
38	1号炉	休炉	H27.9.16	17:30	H27.9.17	1:24	排ガス処理用シーケンスにエラーが発生し、排ガス処理が正常に機能しなくなった。運転継続ができないと判断し、焼却炉を立ち下げた。
13	灰クレーン	停止	H27.5.26	14:00	H27.6.1	16:00	灰クレーン点検時にバケット油圧シリンダからの油漏れを発見したため、クレーンの使用を停止した。
12	1号炉	休炉	H27.5.24	18:27	H27.6.3	10:23	蒸気式空気予熱器本体下部より漏水を発見した。蒸気漏れと判断し、補修のため焼却炉を立ち下げた。

## 新江東清掃工場

連番	炉	状況	発生日時		復旧日時		故障内容・備考等
			日	時	日	時	
69	ごみクレ	停止	H28.2.10	17:00	H28.2.12	18:00	日常点検時に、バケットの油圧シリンダ用プロテクタ及び爪に損傷を発見したため、クレーンを停止した。
57	ごみクレ	停止	H27.12.22	11:00	H27.12.22	14:30	自動運転中のごみクレーンのバケットが、バンカ壁面を擦りながら移動し、監視用ITVに接触した。手動操作にて動作確認したが横行ができず、操作盤モニター上のごみクレーンの位置が本体とずれていた。このため、クレーンの使用を停止した。
42	3号炉	休炉	H27.10.22	11:00	H27.11.6	0:11	主灰シュート(R側)に穴が開いた。摩耗による減肉が原因と考えられる。補修のため焼却炉を立ち下げた。

## 港清掃工場

連番	炉	状況	発生日時		復旧日時		故障内容・備考等
			日	時	日	時	
11	ごみクレ	停止	H27.5.16	17:25	H27.5.18	19:00	横行用減速機入力軸のキー及びキー押えが外れ、横行不能となったため、クレーンの使用を停止した。
3	ごみクレ	停止	H27.4.4	12:19	H27.4.6	19:00	給電ケーブルリールの駆動チェーンが切れ、給電ケーブルが自重により落下した。リール付根部分で給電ケーブルが断線したため、クレーンを停止した。

23区「清掃工場故障週報」平成27年度(工場別)

豊島清掃工場

連番	炉	状況	発生日時		復旧日時		故障内容・備考等
			日	時	日	時	
54	ごみクレーン	停止	H27.12.2	18:00	H27.12.6	20:00	油圧バケット本体底部より油漏れを発見した。現場調査したところケーシングに数か所の亀裂があり、その1か所からの油漏れであると判明したため、クレーンの使用を停止した。
28	ごみクレーン	停止	H27.8.20	15:00	H27.8.21	15:00	油圧バケットの爪付け根取付部のピン及びブッシュに損傷を確認したため、クレーンの使用を停止した。
25	ごみクレーン	停止	H27.8.13	14:50	H27.8.14	14:00	油圧バケットの爪付け根取付部のピン及びブッシュに損傷を確認したため、クレーンの使用を停止した。

渋谷清掃工場

連番	炉	状況	発生日時		復旧日時		故障内容・備考等
			日	時	日	時	
75	1号炉	休炉	H28.3.10	19:00	H28.3.12	10:40	エコマイザからの灰排出が確認できなかった。シュート部の閉塞と判断し、焼却炉を立ち下げた。

中央清掃工場

連番	炉	状況	発生日時		復旧日時		故障内容・備考等
			日	時	日	時	
72	1号炉	休炉	H28.2.29	7:29	H28.2.29	9:34	非常停止が入り焼却炉が停止した。
58	2号炉	休炉	H27.12.22	23:09	H27.12.25	10:48	2号ストローカ下コンベヤがトルク異常により停止した。調査及び補修のため、焼却炉を立ち下げた。
52	1号炉	休炉	H27.11.27	18:30	H27.12.1	9:15	巡回点検中に1号ボイラ灰シュートの詰まりを発見した。閉塞解除作業のため焼却炉を立ち下げた。
50	1号炉	休炉	H27.11.22	21:33	H27.11.26	10:12	1号ボイラ灰搬出装置が過負荷により停止した。調査及び補修のため焼却炉を立ち下げた。
49	1号炉	休炉	H27.11.20	9:08	H27.11.22	11:30	1号灰コンベヤが過負荷により停止した。補修のため、焼却炉を立ち下げた。
20	ごみクレーン	停止	H27.7.16	10:00	H27.7.21	15:00	クレーン点検時に、2号ごみクレーンバケット開閉動作を行ったところ異音を確認した。補修のため、クレーンの使用を停止した。

板橋清掃工場

連番	炉	状況	発生日時		復旧日時		故障内容・備考等
			日	時	日	時	
35	灰クレーン	停止	H27.9.4	14:39	H27.9.4	18:30	シーケンサ故障が発報し、クレーンの操作ができなくなった。調査及び補修のためクレーンの使用を停止した。
17	2号炉	休炉	H27.6.4	8:15	H27.6.16	10:57	2号給じん装置Aの下段後進渋滞警報が発報した。油圧シリンダと押し出し装置を接続している金具のボルト4本が折損して脱落しており、ごみの供給ができない状態であったため、焼却炉を立ち下げた。
2	1号炉	休炉	H27.4.1	10:00	H27.4.3	12:18	輻射部ダストコンベヤの反駆動側軸受のベアリングが破損している状態であった。焼却炉が稼働している状態では補修作業が出来ないため、焼却炉を立ち下げ補修作業及び点検を行う。
85	2号炉	休炉	H27.3.22	14:25	H27.4.7	10:07	ボイラ下ホッパシュートが上部まで閉塞しており、外部からの解除の見込みがなくなったため、焼却炉を立ち下げ解除作業及び点検を行う。

23区「清掃工場故障週報」平成27年度(工場別)

多摩川清掃工場

連番	炉	状況	発生日時		復旧日時		故障内容・備考等
			日	時	日	時	
66	1号炉	休炉	H28.1.19	17:00	H28.1.30	0:13	給じん装置油圧シリンダから油漏れがあり、調査及び経過観察を続けていたが状況が悪化した。補修のため焼却炉を立ち下げた。
61	1号炉	休炉	H27.12.26	15:30	H27.12.29	5:02	日常点検中に、給じん装置油圧シリンダからの油漏れを発見した。油漏れ調査のため焼却炉を立ち下げた。
48	ごみクレーン	停止	H27.11.20	14:11	H27.11.30	16:00	クレーン点検中に給電ケーブルに亀裂があるのを発見した。安全のためクレーンの使用を停止した。
47	ごみクレーン	停止	H27.11.5	3:22	H27.11.11	16:00	自動運転中に「バケットELB断」の警報が発報し、クレーンが停止した。バケットの開閉ができないためクレーンの使用を停止した。
10	2号炉	休炉	H27.4.25	8:00	H27.5.17	1:10	2号回転ストーカーより水漏れが発生したため、休炉し点検補修する。
1	1号炉	休炉	H27.4.1	8:00	H27.4.5	4:22	1号過熱低減器給水流量計ガスケット部よりボイラ水漏れが発生したため、立ち下げて補修する。

足立清掃工場

連番	炉	状況	発生日時		復旧日時		故障内容・備考等
			日	時	日	時	
63	2号炉	休炉	H28.1.1	0:53	H28.1.6	8:35	2号炉主灰シュートの閉塞が発生した。閉塞解除作業のため焼却炉を立ち下げた。
44	ごみクレーン	停止	H27.10.29	13:20	H27.12.10	18:00	ごみクレーン月例点検時に2号クレーンの巻き上げドラムにクラックを発見したため、クレーンの使用を停止した。
32	2号炉	休炉	H27.9.7	16:00	H27.9.11	8:08	2号炉主灰シュートの閉塞が発生した。閉塞解除作業のため焼却炉を立ち下げた。
26	2号炉	休炉	H27.8.16	5:14	H27.8.21	10:25	二重ダンパ動作不良対応時、ストーカー下コンベヤで未燃物が確認された。火格子脱落が予想されるので調査のため焼却炉を立ち下げた。
22	2号炉	休炉	H27.7.29	14:18	H27.8.4	13:18	2号炉主灰ホップシュートの閉塞が発生した。閉塞解除作業のため焼却炉を立ち下げた。
18	2号炉	休炉	H27.7.1	16:24	H27.7.15	12:49	アンモニア貯槽室内においてアンモニア濃度の上昇を確認したため、薬液の漏えいと判断し、アンモニア水ポンプを停止した。調査、復旧に時間を要するため、焼却炉を立ち下げた。
7	ごみクレーン	停止	H27.4.24	14:00	H27.5.14	17:00	ごみクレーン月例点検時に2号クレーンの巻き上げドラムにクラックを発見したため、クレーンの使用を停止した。

品川清掃工場

連番	炉	状況	発生日時		復旧日時		故障内容・備考等
			日	時	日	時	
37	1号炉	休炉	H27.9.15	18:38	H27.10.6	11:53	1号誘引ファンの現場通信盤に異常が発生し、炉内圧力の制御が不可能になったため、焼却炉を立ち下げた。
6	ごみクレーン	停止	H27.4.22	12:21	H27.4.24	14:51	バケット開閉用油圧ポンプの電動機に過電流が発生した。サーマルリレーの保護機能によりバケットの開閉が出来ないため、クレーンの使用を停止した。

## 23区「清掃工場故障週報」平成27年度(工場別)

## 葛飾清掃工場

連番	炉	状況	発生日時		復旧日時		故障内容・備考等
			日	時	日	時	
71	ごみクレーン	停止	H28.2.27	17:00	H28.3.2	16:00	バケットのシリンダーピンの脱落を発見した。内部を確認したところ、ピン取付部が破損していたため、クレーンを停止した。
67	1号炉	休炉	H28.1.29	18:30	H28.2.2	13:05	ボイラ給水ポンプから脱気器へのミニマムフロー配管にピンホールが生じたため、焼却炉を立ち下げた。

## 世田谷清掃工場

連番	炉	状況	発生日時		復旧日時		故障内容・備考等
			日	時	日	時	
74	2号炉	休炉	H28.3.9	13:58	H28.3.19	10:19	燃焼熔融炉流下口がスラグにより閉塞した。スラグバーナを運転し解除を試みたが改善しないため、焼却炉を立ち下げた。
65	2号炉	休炉	H28.1.11	9:59	H28.2.27	10:48	空塔部の温度が上昇し砂層が流動不良となった。ごみ焼却が継続出来なくなったため、焼却炉を立ち下げた。なお、このままオーバーホールに入る。
64	1号炉	休炉	H28.1.5	21:38	H28.1.9	9:21	燃焼熔融炉バッフル部がスラグ及びクリンカ付着により閉塞した。閉塞解除作業のため、焼却炉を立ち下げた。
51	1号炉	休炉	H27.11.27	14:30	H27.12.2	9:54	不燃物抜出装置の冷却水が循環せず、冷却水温度が上昇した。運転継続ができないため焼却炉を停止した。

## 大田清掃工場

連番	炉	状況	発生日時		復旧日時		故障内容・備考等
			日	時	日	時	
23	2号炉	休炉	H27.8.7	16:00	H27.8.11	7:45	2号炉第2燃焼ストーカシュートの閉塞が発生した。閉塞解除作業のため焼却炉を立ち下げた。
21	1号炉	休炉	H27.7.28	16:30	H27.8.7	9:00	1号炉後燃焼ストーカシュートの閉塞が発生した。閉塞解除作業のため焼却炉を立ち下げた。
14	2号炉	休炉	H27.5.21	7:32	H27.6.2	9:04	No.1ボイラ給水ポンプのモータ側軸受部から異音を確認したためNo.2ボイラ給水ポンプに切り替えた。原因の調査に時間がかかると判断し、焼却炉を立ち下げた。

## 練馬清掃工場

連番	炉	状況	発生日時		復旧日時		故障内容・備考等
			日	時	日	時	
76	1号炉	—	H28.3.30	9:55	H28.3.30	13:02	ストーカ駆動用油圧シリンダからの油漏れを発見した。補修のため焼却炉を立ち下げた。
73	ごみクレーン	停止	H28.3.1	10:38	H28.3.10	15:00	待機中のNo.1ごみクレーンの電源再生制御盤に故障警報が発報した。リセットを試みるも復旧しないため、クレーンの使用を停止した。

## 23区「清掃工場故障週報」平成27年度(工場別)

## 破碎ごみ処理施設

連番	炉	状況	発生日時		復旧日時		故障内容・備考等
			日	時	日	時	
68		休炉	H28.2.7	21:23	H28.2.10	14:03	焼却炉用シーケンサにエラーが発生し、焼却処理が正常に機能しなくなった。運転継続ができないと判断し、焼却炉を立ち下げた。
36		休炉	H27.9.13	8:05	H27.11.11	12:14	飛灰搬出装置コンベヤのショックリレー及びサーマルリレーが動作した。無負荷運転状態においても状況が改善されないため焼却炉を立ち下げた。
31		休炉	H27.9.5	7:12	H27.9.10	11:01	ろ過式集じん機にホップブリッジが確認された。解除作業のため焼却炉を立ち下げた。
30		休炉	H27.9.3	17:40	H27.9.4	21:02	飛灰搬出装置のコンベヤ部に灰による閉塞が確認された。解除作業のため焼却炉を立ち下げた。
29		休炉	H27.9.2	17:30	H27.9.3	15:38	不燃物排出装置に閉塞が確認された。解除作業を行うため、焼却炉を立ち下げた。
24		休炉	H27.8.8	2:43	H27.8.8	19:01	不燃物排出装置に閉塞が確認された。解除作業を行うため、焼却炉を立ち下げた。
16		休炉	H27.6.3	21:50	H27.6.14	5:21	炉床部に不燃物等が堆積し流動不良が発生した。改善作業を行うも復旧の見込みが立たず、焼却炉を立ち下げた。
15		休炉	H27.5.29	3:50	H27.5.29	22:01	砂循環装置の炉砂投入口に不燃物が堆積し、砂の循環が停止した。解除作業を行うため、焼却炉を立ち下げた。
9		休炉	H27.5.6	18:40	H27.5.9	4:01	不燃物排出装置の閉塞が確認された。解除作業を行うため、焼却炉を立ち下げた。
8		—	H27.5.1	10:54	H27.5.1	15:35	不燃物排出装置の閉塞が確認された。解除作業を行うため、焼却炉を立ち下げた。
5		休炉	H27.4.14	18:37	H27.4.16	3:05	アンモニア水の吹き込み量が不足したため、NOxが上昇した。アンモニア水ポンプの吐出不良が想定されたが、復旧の見込みが立たないため立ち下げた。